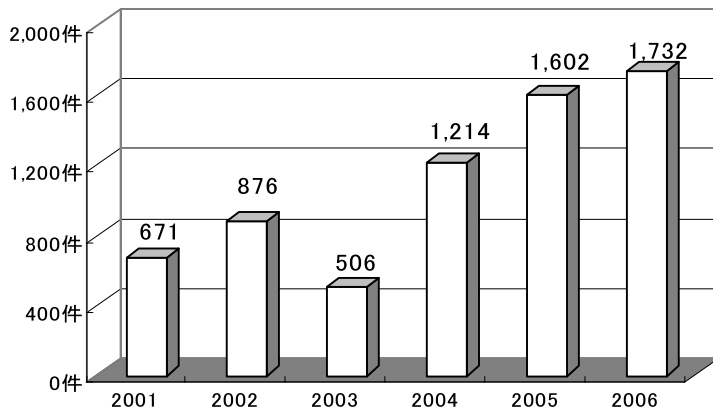


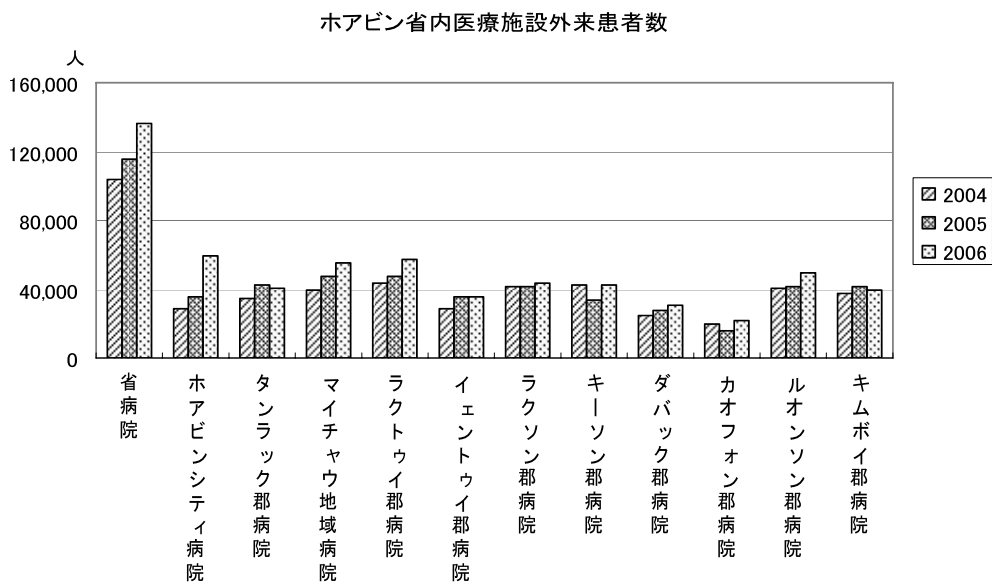
図 3-2-4 DOHA による研修コース実績 (ベトナム全土)



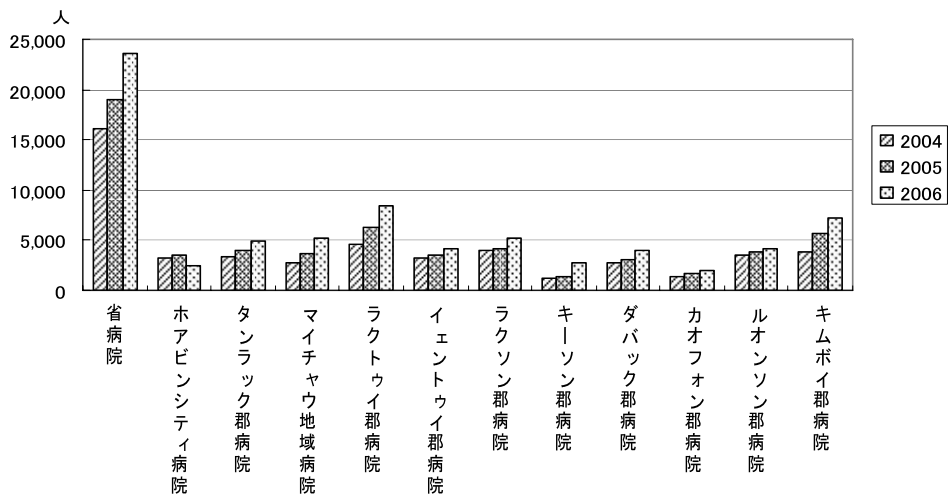
出所：保健省

このように研修センター及び DOHA の研修の実施により、適切な技術移転が行われることで下位病院での医療サービス活動も活発化しており、図 3-2-5 に示すとおり、北部ホアビン省内の省病院、郡病院の外来及び入院患者数ともに年々増加していることがわかる。中部地域においては省・群病院の統計は入手できなかったが、ヒアリングによると患者数は増加しているとのことであった。南部については、前述の表 3-2-2 における 南部地域の第 4 次、第 3 次医療施設の項で示されているとおり、患者数、診療活動件数ともに増加傾向にある。

図 3-2-5 北部ホアビン省内の省病院、郡病院の外来及び入院患者数



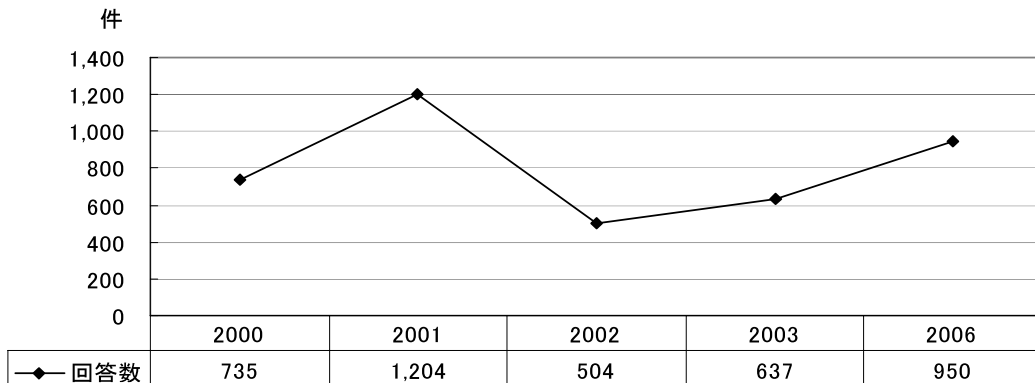
ホアビン省内医療施設入院患者数



出所：ホアビン省保健局

このような研修体制の下、下位病院での誤診が発見された場合、上位病院が下位病院に対してフィードバックするシステムとして、Two-way Information System があり、リファラル用紙の記載に基づき、上位病院より下位病院に対し伝達・指導が行われている。表 3-2-5 では、北部バックマイ病院が受け取った患者のリファラル用紙に対してフィードバックした件数の推移を表している。2001 年から 2002 年にかけて件数が減少しているものの、その後は徐々に増加傾向にあり、Two-way Information System が適切に機能していることがわかる。症例検討会はチョーライ病院において実施され、これに基づいたフィードバックによる指導も効果的に取り入れられている。

表 3-2-5 北部バックマイ病院リファラル患者件数の推移



出所：バックマイ病院

3.2.3 JICA の協力

ベトナム統一後の保健医療分野における日本の協力は、対ベトナム国援助が再開された1990年代初頭から開始されている。本評価調査では表3-2-6に示す案件群を対象として、保健リファラル・システムに関連する協力の調査を実施した。対象案件ではまず1992年に無償資金協力による南部のチョーライ病院の整備、その後、同病院の機能を強化する技術協力がある。次いで無償資金協力による北部の拠点病院であるバックマイ病院に対する施設拡充、北部地域保健強化のための技術協力がある。さらに中部においても同様に拠点病院であるフエ中央病院への無償資金協力及び技術協力の実施を通じて、地域拠点病院を整備した。いずれも、拠点病院の機能強化と、そこから下位レベルへの技術指導體制の整備といった協力が展開されている。

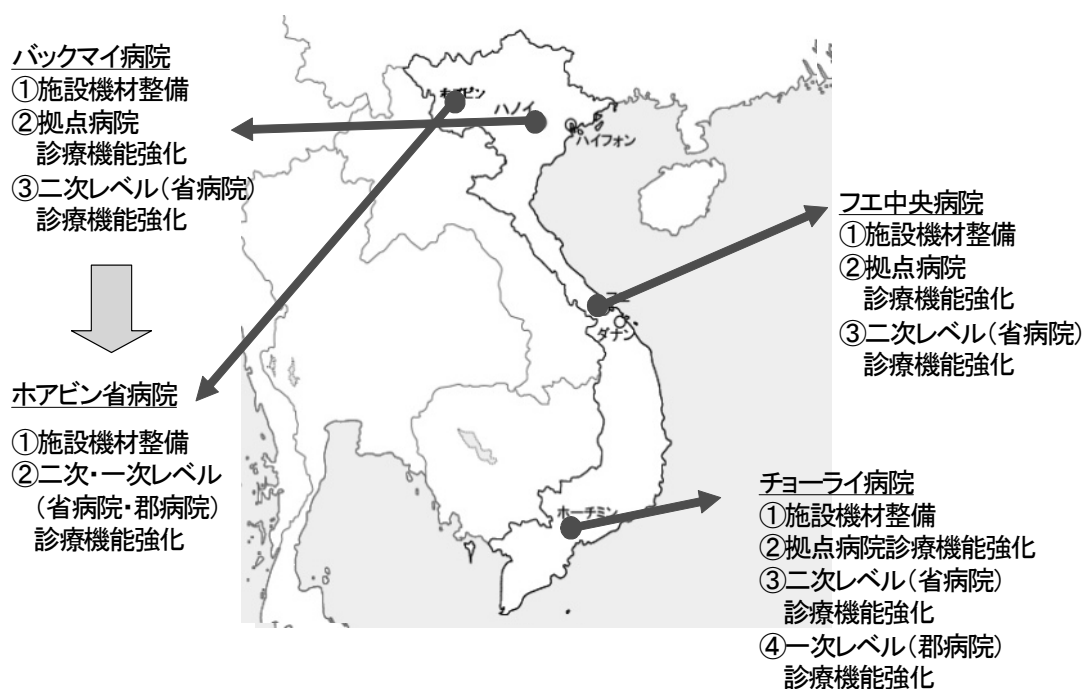


図 3-2-5 ベトナムへの協力展開

表 3-2-6 対象案件の概要

地域	南部 ホーチミン			中部 フエ	
	案件名	チョーライ病院	チョーライ病院 プロジェクト	現地国内研修 チョーライ病院 臨床技術	フエ中央病院改善計 画
スキーム	無償資金協力	技術協力プロジェクト	技術協力プロジェクト	無償資金協力	技術協力プロジェクト
協力期間	92-94	95/4-98/3	99-03	04-06	05/07-10/06
T/G	チョーライ病院	チョーライ病院で技術協力を実施する 部局のスタッフ	チョーライ病院が管轄する南部ベトナム 地域の省病院を主とした下位レベルの 各病院関係者	フエ中央病院	フエ中央病院職員(1,710名)、中部地域 の省病院職員(約6,800名)
裨益対象 等	直接受益者:ホーチミン市及び近隣住民 間接受益者:南部地域住民			直接受益者:ティア ティエンフエ省住民 (約100万人) 間接受益者:フエ中央 病院の診療圏内の中 部地域住民(約1800 万人)	直接受益者:フエ中央病院職員(1,710 名)、中部地域の省病院職員(約6,800 名) 最終受益者:プロジェクト対象の中部地 域の住民(約1,224万人)
対象病院 概要	病床数:1,350床(公証)／1,705床(実情) 年間入院患者数:103,798人(2006年) 年間外来患者数:872,238人(2006年) 年間手術件数:36,796件(2006年)			病床数:1,100床(公証)／1,600床(実情) 年間入院患者数:51,911人(2005年) 年間外来患者数:229,550人(2005年) 年間手術件数:16,000件(2004年)	
上位目標	(より良い医療サービ スの提供)	ホーチミン市及び南部ベトナム地域の 保健サービスが向上する。	チョーライ病院が管轄する南部ベトナム 地域の省病院を主とした下位レベルの 各病院関係者を対象として臨床技術の 向上を図る。	中部地域における保 健医療サービスの質 の向上	中部地域の省病院の医療サービスが 改善される
プロジェクト 目標	(老朽化した施設の 機能回復)	南部ベトナムの中核病院としてのチョー ライ病院の機能が強化される。	臨床医師及び看護婦の臨床各分野(脳 外科、循環器疾患、消化器官疾患、ICU (集中治療室)患者の治療及び看護等) に関する理解を高め、技術を向上させ る。	フエ中央病院の施設 と関連医療機材整備	フエ中央病院の省病院を対象とした研 修機能が拡充される
成果		1.病院管理全般が工場する 2.病院情報システムが向上する 3.看護サービス及び看護管理が向上す る 4.脳外科診療技術が向上する 5.消化器診療技術が向上する 6.腎疾患診療技術が向上する 7.ICU診療技術が向上する	1.研修参加者は、超音波検査による診 断技術を身に付ける。 2.研修参加者は、ICU患者の看護に関 する技能を身に付ける。 3.研修参加者は、消化器官疾患におけ る内視鏡検査による診断技術を身に付 ける。 4.研修参加者は、血液透析の技術を身 に付ける。 5.研修参加者は、腹腔鏡を用いた外科 手術の技術を身に付ける。 6.研修参加者は、緊急時の神経外科治 療の技術を身に付ける。 7.研修参加者は、ICU患者の治療技術 を身に付ける。 8.研修参加者は、緊急時の心臓病治療 の技術を身に付ける。 9.研修参加者は、病院経営に関		1.省病院の模範となる医療サービスが フエ中央病院で実践される 2.研修運営体制がフエ中央病院で確立 される 3.フエ中央病院が各省病院の医療サー ビスの状況を把握する
主な活動		各診療技術に関するコンサルテーショ ンの実施、技術移転 マニュアル作成、トレーニングコースの 実施	臨床医師及び看護婦の臨床各分野(脳 外科、循環器疾患、消化器官疾患、ICU (集中治療室)患者の治療及び看護等) に関する指導	中央診療棟、外来棟 の新設及び新設施 設、機材整備	
主な投入	施設修復及び機材 供与 8.40億円(92年) 8.03億円(93年) 8.77億円(94年)	専門家(長期3、短期17) 研修員受入(6名) 機材供与(0.03億円) ローカルコスト負担(0.05億円)	短期専門家派遣(10名) 研修経費負担(約0.50億円)	施設建設及び機材調 達 (30.11億円)	専門家(長期3名、短期年間3~4名) 機材供与(1.1億円) 研修員受入(0.6億円):年間4名程度 現地業務費(1億円)